

7.25 CIM 解決研究会第 27 回勉強会のご報告

平成 29 年 7 月 25 日
CIM 解決研究会事務局

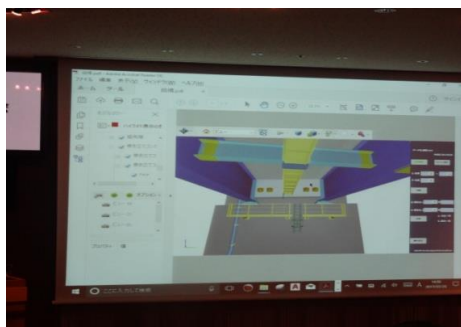
去る紀尾井フォーラムにおいて、51 名の参加者を得て第 27 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

冒頭では当会参事の天本俊正様からご挨拶を、緒方正剛様からは JACIC から発刊された「CIM を学ぶⅢ」についての話題提供を頂きました。



「土木構造物向けPDFベースのCIMモデル管理システム CIM-PDFのご紹介」 オフィスケイワン㈱ 保田敬一様

土木構造物向け PDF ベースの CIM モデル管理システム「CIM-PDF」を活用することにより、長期保存・長期運用を前提とした属性情報追加機能とオンラインヘルプが付いた CIM モデルができるというお話を頂きました。参加者の方からは「当社も橋梁メーカーへの CIM 対応に向け、提案できる内容だった。」といった感想を頂きました。



「加速する三次元モデル活用 ～CIM ガイドラインとソフトウェアの対応について～」

福井コンピュータ㈱ 浅田一央様

i-Construction における納品データの共通フォーマットに関するお話や、3 次元 CAD システム「トレンドコア」と VR 体験ツール「ハコスコ」を活用した現場のみえる化に関するお話を頂きました。参加者の方からは「国交省からの発注に備えて準備しなければと痛感しました。」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」 当会 齊藤学一、福士幹雄

福士からは、地場の建設会社においてレーザースキャナ、ドローンを0から導入した際の事例に関するお話をさせていただきました。齊藤からは、モンゴル出張での気付きに関するお話をさせていただきました。参加者の方からは「施工会社として必要な知識と投資を考える良い機会となりました。」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には20名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

